

様式第2号（第5条関係）

令和 6年 3月4日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員

藤 本 光 行



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和 6年 2月 4日 ～ 2月 5日
- 2 旅 行 先 東京都千代田区 全国町村会館
- 3 目 的 「政策サイクル推進フォーラム」公開セミナー参加のため
- 4 関係書類 別紙のとおり



# ミライの議員・議会のために

～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～

- バックキャストでミライの議会・議員の姿を展望！
- 議員のなり手不足解消とコミュニティ自治の行方は？
- 議会は住民自治のプラットフォームだ！

## 開催趣旨

北海道栗山町議会による議会基本条例の制定(2006年)から17年余りが経過しました。議会改革は第2ステージに入ったと言われますが、形式的な改革から実質的な改革への歩みはまだ本格的なものになっていません。2023年統一地方選においても議員選の投票率の低下、無投票率の増加に歯止めがかからず、一部では女性議員が増えたものの、町村を中心に議員のなり手不足はより深刻化・クローズアップされました。

(公財)日本生産性本部では、「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」(座長＝江藤俊昭・大正大学教授)設立、「地方議会成熟度評価モデル」を開発するとともに、評価の実装化を通じて地方議会におけるさらなる住民福祉の向上を支援してきました。成熟度評価では「議会からの政策サイクル」の確立が前提となると同時に、「バックキャスト」でミライの議会・議員のありたい姿を展望することで、これから本格化する人口減少社会に議会・議員がいかに適応していくかを考えてきました。

本セミナーでは、議員のなり手とも密接にかかわるコミュニティのあり方とともに、ミライの地方議会・議員の姿を展望します。

**会場** 全国町村会館 2階ホール  
(東京都千代田区永田町1-11-35)

**対象** 地方議会の議員、議会事務局の職員  
他

**定員** 100名(会場定員、先着順)  
※オンライン配信は行いません。

## 登壇者



大正大学  
社会共生物学部教授  
**江藤 俊昭 氏**

**えとう・としあき** 1956年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程満期退学。博士(政治学)。マニフェスト大賞審査委員、(公財)日本生産性本部「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」座長、第29次・第30次地方制度調査会委員などを歴任。『議会改革の第2ステージ』『自治体議会学』『地方議会改革』『議員のなり手不足問題の深刻化を乗り越えて』『非常事態・緊急事態と議会・議員』など著書多数。



東京都立大学  
法学部教授  
**大杉 寛 氏**

**おおすぎ・さとる** 1964年横浜市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門分野は、行政学、地方自治論。東京都立大学法学部助教授を経て、2005年から現職。総務省地域づくり人材の養成に関する研究会座長などを始め、国・自治体の審議会等委員を歴任。著書に、『コミュニティ自治の未来図』『これからの地方自治の教科書 改訂版』など。



兵庫県西脇市議会  
議長  
**林 晴信 氏**

**はやし・はるのぶ** 1967年西脇市生まれ。甲南大学経済学部卒業。1996年、28歳で西脇市議会議員初当選(以降8期連続当選)。第9代、第11代、第13代議長。議長就任以降、西脇市議会を早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度ランキング全国1位(2018年度)、日経グローバル議会活力度ランキング全国1位(2019年度)に導く。「議会は住民の中にある」「議会は住民自治のプラットフォーム」を掲げ、議会活動の傍ら、全国の自治体議会議員に研修講演等を精力的に行う。

※登壇者の肩書きは2023年11月5日時点

2024年2月4日(日)  
13:30～17:30

お申込みは  
こちら



## 参加費

議員 11,000円  
議会事務局職員・市民等 5,500円  
※いずれも税別

コーディネーター:千葉茂明(日本生産性本部上席研究員)



|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                                                                           | 令和 6 年 2 月 4 日 13:30 ~ 17:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 視 察 先                                                                         | 公益財団法人 日本生産本部 主催<br>「政策サイクル推進地方議会フォーラム」公開セミナー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 調査事項                                                                          | 同上                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 対 応 者                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1. 視察目的<br>2. 視察内容<br>① 背景<br>② 特徴<br>3. 主な質疑<br>4. 考 察<br>(感想、政策提<br>言、課題など) | <p>1 本議会のサポーターである 大正大学江藤俊昭教授が座長を務める「政策サイクル推進地方議会フォーラム」のセミナーに参加し、あらためて住民自治の根幹としての議会のあり方について学ぶ。</p> <p>2. 講演 ・ 議会 議員の過去、現在、ミライ<br/>大正大学 江藤 俊昭氏<br/>・ コミュニティ自治とミライの議会<br/>東京都立大学 大和 寛氏<br/>・ 議会は住民自治のプラットフォーム<br/>西脇市議会 林 晴信氏</p> <p>4. 本議会では 議会基本条例の元、議会の機能強化や積極的な住民参加を行ってきた。今回の3者の講演で、江藤氏が<br/>議会のミライを見据えた取り組みの中で、決算の充実こそ地域経営のミライを決めるということ。それに伴って決算における議選監査委員の活用が重要、という話に<br/>興味深かった。<br/>現在 議選 監査委員を務める自分にとって</p> |

自治体監査は独立のものであり、議員活動とは切り分けなければならぬとの認識であったが、監査委員の守秘義務は前提としながらも、議会との協働は、さまざまな面で可能であるし、すべきであるとの示唆は研究に値する事柄であると認識した。

また、西脇市議会の議会としての政策サイクルは、まことに理にかがった、すばらしい手法であると感心した。真似ることは悪いことではないので、取り入れることのできる所から、どんどん真似をし、住民福祉向上に役立てていきたい。